学校番号	2004

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	2	第３学年	三省堂「CROWN English Expression Ⅱ」 啓隆社「READING CORE for 共通テスト」 第一学習社「Active Listening 大学入学共通テスト対応リスニング 10 分＋30 分」 数研出版「共通テスト英語リスニングプレノート」 数研出版「入試必携英作文」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新学力観の目標の一つである思考力･表現力､判断力を含め､英語４技能 Reading, Listening, Writing, Speaking の集大成をめざす。CEFR　B1 を目標とする。

ほとんどの生徒が大学へ進学するという事情から、教科書だけの学習のみならず、副読本を複数採用し進路実現に向けた英語力向上をめざす。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見など、多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

【第３学年】履修科目：「Communication 英語　Ⅲ」（３単位）「Communication 英語　Ⅲ」（２単位）「英語表現Ⅱ」（２単位）及び「英語読解特講」（２単位）「英語総合特講」（２単位）、「実用英語」（１単位）「単語力養成講座」（１単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・読んだものに関連した話題について、ペアに伝えることができる。	ペアワーク ディスカション	・読んだことに対して、自分の意見や考えを、正確な英語で書くことができる。 ・要点をまとめ、簡潔な英語で読んだものをまとめることができる。	ワークシート 定期考査	・比較的長い対話や、講義を聞き、要点をとらえ、内容を理解することができる	定期考査 リスニングテスト	・説明文や随筆等を読んで､情報を整理しながら要点をまとめ､正確に読むことができる。 ・科学的な内容の文章を、情報を整理しながら､且つ批判的に読むことができる。	定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	英語を積極的に運用し、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストにある「話すこと」と「書くこと」の到達目標を客観的に迅速に、且つ的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストにある「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を客観的に、且つ的確に評価できる方法で実施。	英語を運用するために、必要な文法知識や、コミュニケーションを円滑に進めるために、必要な文化を理解しているかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 1 Lesson 1～ Lesson10 (復習) (18 時間) ※教科書単元を復習しながら進め、適宜、副教材を使用する。	時制・助動詞・受動態 不定詞・動名詞・分詞 比較・関係詞 仮定法・接続詞 疑問詞 否定 特殊構文 名詞・冠詞 代名詞 形容詞・副詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにある Further Activity のダイアログをペアでの形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしているか。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話しているか。	・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なライティングを行う。	・時制や助動詞を上手く使い分け、自分の習慣や週末の予定、校則に関するエッセーを書く。	・現在・過去・未来・完了などの時制を使い分けることができる。 ・適切な助動詞を使うことができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。 ・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・リスニング教材を正しく聴き取り、その意味を理解することができる。	・リスニングワークシートを用いて内容に関するペアワークや歌詞の聞き取り、ディクテーションを行う。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・時制・助動詞・受動態の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。 ・異文化理解を深める。	・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。 ・外国のジェスチャー等に関する quiz で異文化理解を深める。	・文脈に則して適切な時制表現や助動詞を使うことができる。 ・聞かれた質問内容に適切に答えることができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。 ・質問内容を理解し、それに対して積極的に答えようとする姿勢があるかを観察する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part 2 （復習） （ 20 時間） ※教科書単元を復習しながら進め、適宜、副教材を使用する。	感情を表す表現 希望・願望/依頼・要請/許可 原因・理由/目的/結果 忠告・義務/必要/提案・勧誘 時間的順序 空間配列・方向 方法・様態/数量 賛成・反対 例証/比較・対照/譲歩 要約	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにあるダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なライティングを行う。	・動名詞や不定詞を使いエッセーを書く。 ・関係詞を使い、エッセーを書くことができる。 ・書いたエッセーをもとにスピーキングをする。	・分詞構文を理解し、それを使った文を書くことができる。	・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・リスニング教材を正しく聴き取り、その意味を理解することができる。 ・スピーキングの内容を聞き取る。	・リスニングワークシートを用いて内容に関するペアワークやディクテーションを行う。 ・スピーキング内容をメモし、話の要点をつかむ。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・助動詞・受動態の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。 ・異文化理解を深める	・会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。 ・quiz で異文化理解を深める。	・文脈に則して適切な準動詞や分詞、関係詞を使うことができる。 ・話している内容を理解し、聞かれた質問内容に適切に答えることができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。 ・quiz で発話された質問内容を理解し、それに対して積極的に答えようとする姿勢があるかを観察する。
Stage 1 （復習） （ 15 時間） ※教科書単元を復習しながら進め、適宜、副教材を使用する。	パラグラフの構成 例示・追加 順序・列挙・分類 比較・対照 原因・結果	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにあるダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・グループ内でペアワークの評価シートを用いたセルフチェックをさせる。 ・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なライティングを行う。	・比較表現を使い、社会問題に関するエッセーを書く。 ・仮定法を使い、社会問題に関するエッセーを書く	・仮定法過去・過去完了を使い。仮定の話をする事ができる。 ・接続詞を使って流れがわかりやすい文章を書く工夫ができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。

		「外国語理解の能力」			
		・リスニング教材を正しく聴き取り、その意味を理解することができる。 ・NET によるスピーキングの内容を聞き取る。	・リスニング教材を聴き、ワークシートを用いて内容に関するペアワークや、ディクテーションを行う。 ・NET のスピーキング内容をメモし、話の要点をつかむ。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。 ・英語特有の表現・言い回しなどを理解できる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・比較・仮定法の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。また、文と文を適切な接続詞でつなぐことができる。 ・異文化理解を深める	・会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。 ・NET による外国のジェスチャー等に関する quiz で異文化理解を深める。	・文脈に則して適切な比較表現や仮定法、接続詞を使うことができる。 ・NET の話している内容を理解し、聞かれた質問内容に適切に答えることができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。 ・NET による quiz で発話された質問内容を理解し、それに対して積極的に答えようとする姿勢があるかを観察する。

思考力・判断力・表現力を問うためのディベートにチャレンジする（４時間）	Debate	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		あるテーマについてディベートをすることに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。	ディベートで使われる表現について理解する。	グループワークにおいて、相手と協力しながら、コミュニケーションを図ることができる。	グループワークを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		あるテーマについて自分の意見を述べることでディベートをする。	ディベートに役立つ表現を理解して適切な英文を書く。	ディベートに役立つ表現を理解し、適切な英語を使ってディベートすることができる。	グループワークによる確認。ワークシート、ならびに定期テスト。
		「外国語理解の能力」			
		あるテーマについて自分の意見を述べることでディベートをする。	ワークシートを活用して概要を把握する。	ワークシートを活用して概要を把握することができる。	ワークシート、ならびに定期テストのリスニング。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ディベートの手順や方法を理解し、あるテーマについて行われるディベートの内容を読み取る。	ディベートを成り立たせるポイントや有利に進めるポイントを理解する。	ディベートを成り立たせるポイントや有利に進めるポイントを理解することができる。	ワークシート、ならびに定期テスト
Active Listening 大学入学共通テスト対応リスニング 入試必携英作文 （２４時間）	大学入学共通テストの演習	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		大学入学共通テストで頻出の会話表現を理解する。	大学入学共通テストで頻出の会話表現について注意しながら本文を読む。	大学入学共通テストで頻出の会話表現を用いてペアと話すことができる。	ペアワークの観察ならびに定期テスト。

		「外国語表現の能力」			
		大学入学共通テストで頻出の表現を理解し、適切な英語を書く。	大学入学共通テストで頻出の表現を理解し、整序問題を解く。	大学入学共通テストで頻出の表現を理解し、整序問題を解くことができる。	ワークシートならびに定期テスト。
		「外国語理解の能力」			
		英語をすばやく読み、概要や必要な情報を理解する。	制限時間を設定し、英文を読み、内容を把握する。	ワークシートを活用して、英文の内容を把握することができる。	ワークシートならびに定期テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		大学入学共通テストに頻出する単語や文法・語法を理解する。	ワークシートを活用し、単語や文法・語法を理解する。	ワークシートを活用し、単語や文法・語法を理解することができる。	ワークシートならびに定期テスト